

行動指針具現化して処遇改善

群馬県建設業協会会長 青柳 剛

今後も「地域を守る建設業」の役割を果たすため「防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策」を積極的に進めるとともに、価格高騰対策や「5か年後」を見据えた対応が必要となります。また、昨年の群



馬県知事と協会12支部との意見交換によって共通認識を持った「限界工事量の理念」を実践されることが望まれます。現在、建設業の重要な課題は、2024年4月から適用される時間外勤務の上限規制です。コスト、工期、生産性の観点から、しっかり検討を進め、会員企業が対処できるような制度改正などを提言しながら、国とも連携して取り組みたいと考えています。本年も人材確保育成や生産性の向上、災害対応組織力の強化を進めるため、リモートと対面を使い分け、効果的な会議や研修を行うとともに、アンケートに基づく情報発信を行い、会員企業の経営安定が図られるよう協会活動を積極的に展開します。

んでいきます。

こうした検討や活動を行うことで「備えから成果へ」とした今年度の行動指針を具現化し、「建設業で働く人たちの処遇改善」につなげていきたいと考えています。

行動指針具現化して処遇改善

群馬県建設業協会会長 青柳 剛

今後も「地域を守る建設業」の役割を果たすため「防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策」を積極的に進めるとともに、価格高騰対策や「5か年後」を見据えた対応が必要となります。また、昨年の群



馬県知事と協会12支部との意見交換によって共通認識を持った「限界工事量の理念」を実践されることが望まれます。現在、建設業の重要な課題は、2024年4月から適用される時間外勤務の上限規制です。コスト、工期、生産性の観点から、しっかり検討を進め、会員企業が対処できるような制度改正などを提言しながら、国とも連携して取り組

んでいきます。

こうした検討や活動を行うことで「備えから成果へ」とした今年度の行動指針を具現化し、「建設業で働く人たちの処遇改善」につなげていきたいと考えています。

本年も人材確保育成や生産性の向上、災害対応組織力の強化を進めるため、リモートと対面を使い分け、効果的な会議や研修を行うとともに、アンケートに基づく情報発信を行い、会員企業の経営安定が図られるよう協会活動を積極的に展開します。



コロナ禍で迎える新年も3度目となりました。新型コロナウイルス感染症に加えて、ウクライナ情勢、円安、物価高騰も重なり、日本経済の不透明感が増しているなか、建設業界も厳しい状況が続いています。厳しい状況を乗り越えるには、協会として何ができるか、何を行うべきかを考えて対

応したいと思っています。とが望まれます。

「地域を守る建設業」の役割を果たすため「防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策」を積極的に進めるとともに、価格高騰対策

現在、建設業の重要な課題は、2024年4月から適用される時間外勤務の上限規制です。残すところ15カ月となり、「コスト」

時間外上限規制に対応を

群馬県建設業協会

会長 青柳 剛

や「5か年後」を見据えた「工期」「生産性」の観点に対応が必要です。また、昨年行った群馬県知事と協会12支部との意見交換によって共通認識した「限界工事量の理念」を実践されるこ

討、活動を行うことで「備えから成果へ」とした本年度の行動指針を具現化し、「建設業で働く人たちの処遇改善」につなげていきたいと考えています。

本年も引き続き、人材確保育成、生産性の向上、災害対応組織力の強化を進めるため、「リモート」と「対面」を状況に応じて使い分け、効果的な会議、研修を行うとともに、アンケートに基づく情報発信を行い、併せて会員企業の経営安定が図られるよう協会活動を積極的に展開してまいります。